

東日本大震災 対策本部情報

95号

2011/05/26

東松島市ボランティア 鉄道と地域の復興に向け

長野地本と新庄支部が活動を行う！！

長野地本と新庄支部が東松島市で家の床下の泥だしと公園の整備を行いました。「本当に助かります」と心からの感謝の言葉を頂きました。



津波で運ばれた泥が家や庭など町のあらゆる箇所に堆積しています。その泥には様々な有害物質や津波で破壊された建物の残骸やガラスなどが含まれており、床下や庭に堆積した泥を片付けなくては生活することはできません。床下の泥は水分を含んでいて重く、庭の泥は晴れの日が続くと乾燥しコンクリートのようになり、粉じんが巻き起こります。こうした作業は家族や住民だけでは片付けることができず、多くのボランティアなど人力に頼るしか

ありません。

ボランティアに活動に参加した組合員は復興に向けて懸命に作業を行う住民と接し、当

時の状況なども聞き、お礼や感謝の言葉を頂き充実感を得ています。しかし、一方では津波の甚大な被害を目にして自然の驚異を感じ「復興にはまだまだ時間が必要だ」「ボランティアが足りない」ということも実感しています。

JR 東労組は、地域と鉄道の復興に向けて12地本が釜石市と東松島市でボランティア活動を継続しています。



JR 東労組